

イベントで炭坑の歴史を替え歌と踊りで分かりやすく伝えたり、MCなどで炭鉱や荒尾のPRをしたりと市内外で引っ張りだこの「荒尾市盛り上げ隊 炭坑ガールズ」。市民レベルでも万田坑の世界遺産登録を応援して、地元を元気にしたいと、昨年10月に結成されました。

当初は8人だったメンバーも今では20人。3歳〜50代の幅広い年齢の女性が学校や仕事の合間を縫って、活躍しています。世界遺産登録後は、出演依頼も増え、一日に5〜6回イベントに行くこともあるそうです。

「お客さんに楽しんでもらうため、歌や踊りをきちんと披露できるように、発声練習や腹筋・背筋など筋力トレーニングに力を入れています。また、元炭鉱マンに話を聞いたり、本を読んだりして、少しずつ炭鉱の勉強をしています。」

改めて、古里の歴史を知ることと、自分たちの成長へもつながっていると感じています」と、代表の蓮本裕季子さんは笑顔を見せます。「炭鉱を知らない世代の私たちですが、若い人や炭鉱を知らない人に炭鉱の歴史を伝えていきたいんです」。

活動を通して、お客さんと触れ合う中で、「炭鉱を身近に感じました」「元気をもらったよ」「炭鉱での生活を思い出しました」などのうれしい声が続々と届き、活動の励みになっていると言います。

「メンバーの年齢はバラバラですが、楽しく仲良く活動しています。最終的には、メンバー一人一人がもっと勉強して、炭坑ガールズが万田坑をガイドできるようになれたらいいなと思います。これからも、万田坑はもちろん、荒尾市全体を盛り上げられるように、頑張ります」。

## 万田坑の世界遺産登録をきっかけに 荒尾市全体を元気にしたい



荒尾市盛り上げ隊 炭坑ガールズ

▲一緒に炭鉱をPRしてくれるメンバーを募集しています。10月24日(土) 午後7時から「ハロウィン Live」を文化センターで開催します。詳しくは炭坑ガールズホームページをご覧ください。 電話 080-1797-4021

# 受け継がれる炭鉱の物語

ことし7月、三池炭鉱万田坑や三池炭鉱専用鉄道敷跡を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されました。

万田坑や炭鉱で働いていた人たちの生きざまに魅せられ、登録前から、万田坑を応援してくれている人たちがたくさんいます。その人たちの思いを知って、世界の宝になった万田坑を見つめ直してみませんか。

## VOICE

万田坑近くにある万田小学校では、5・6年生が総合的な学習の時間などを使って、万田坑の学習を行っています。今回は6年生にお話を聞ききました。

炭鉱で働いていた人たちが石炭を掘って、日本の産業を支えてくれたから、今の日本や荒尾があると思います。万田坑を分かりやすく説明するパンフレットをクラスで作っています。多くの人に見てもらい、万田坑や炭鉱で働いていた人たちのことを知ってほしいです。



まつえだひなな  
松枝心花さん

子どもにも分かりやすいように、万田坑周辺のお薦めスポットのパンフレットをクラスで作っています。完成したら、たくさんの人に活用してほしいです。お客さんのためにも石炭ゴロゴロ万田焼など石炭にちなんだご当地グルメがいろいろ開発されたいですね。



くによししょうたろう  
國吉翔太郎君

万田坑には第二豎坑ヤグラなど当時の資産がそのまま残っているので、すごいと思います。炭鉱で働いていた人たちが頑張ってくれたから、荒尾も栄えだし、世界遺産にもなれました。今後、万田坑で新しいイベントが行われると、荒尾に活気が出ていいなと思います。



なりとくこうたろう  
成徳航太郎君

お祭りで「炭坑節」を踊ったり、万田坑に遠足に行ったりと、小さい頃から万田坑はとても身近でした。万田坑のガイドさんには高齢の人も多いので、私たちがガイドを引き継げるように頑張っていきたいです。いっぱい勉強して、お客さんに喜んでもらいたいですね。



たにいゆなの  
龍井陽菜乃さん